

5 各学年・各部・各教科の努力目標

◆各 学 年

1 学 年

- (1) 基本的な生活習慣の確立
 - ①挨拶の徹底
 - ②8:45の前に教室前に立ち、生徒の入室を促す。
時鐘の鳴り終わりの段階で入室していなければ遅刻とみなすことを統一する。
 - ③早く授業が終わるようなことがあっても、時間内は教室待機させる。
 - ④教室の棚の上に私物を置くときは整理整頓をする。ロッカー内は整理整頓して利用する。
- (2) 人権意識の涵養
 - ①学級での生徒1人1人への目配り
 - ②生徒また職員間で積極的なコミュニケーションを図る。
- (3) 進路意識の涵養
 - ①進路の手引き、進路室を積極的に活用し、早期の希望進路決定を促す。

2 学 年

- (1) 基本的な生活習慣の確立
 - ①あいさつ、5分前行動の徹底
 - ②教室整備と美化
 - ③マナーの向上
- (2) 進路の早期決定
 - ①総合的な探求の時間の取組の充実
 - ②進路実現に向けた主体的な活動の充実
- (3) 人権意識の向上
 - ①いじめの防止
 - ②SNSを含む情報モラルの向上

3 学 年

- (1) 進路指導の充実
 - ①進路相談の充実
 - ②講座の受講、模擬試験の受験奨励
 - ③進路部との連絡会実施
 - ④受験における事前事後指導の徹底
 - ⑤各種検定受験の奨励
- (2) 学習態度の確立と学習環境の整備
- (3) 勤怠指導と身なり指導の充実
- (4) 勉学と部活動・学校行事の両立

◆各 部

教務情報部

- (1) 学校行事の精選と授業時数の確保に努める
- (2) 生徒の実態に応じた新教育課程の円滑な実施に努める
- (3) 諸表簿の整備・保管と内規の整備に努める
- (4) スムーズな校務運営のサポートを心がける
- (5) 進路相談支援システムの活用
- (6) 学校Webページの充実を図る
- (7) LANの運用保全
- (8) 一人一台端末の整備とその活用

進路指導部

- (1) 進路の早期決定に向けた指導の充実を図る
- (2) 講座の充実と継続受講を督励し、模擬試験を奨励する
- (3) スタディーサポート・模試データ等の結果分析を行い、適切な情報提供を行う
- (4) 学年会・担任と連携して進路指導の充実を図る
- (5) 進路だより「群星」を中心とする進路情報の充実を図る
- (6) 応用クラスを中心に国公立大学への進学を目指す生徒を育成する

生徒指導視聴覚部

- (1) 基本的な生活習慣の確立
- (2) 校則・交通ルールを遵守する規範意識の高揚
- (3) 生徒会活動の活性化
- (4) 部活動の活性化
- (5) 統一した指導の確認

環境保健部

- (1) 清掃活動の徹底を図る
- (2) 自主的な健康生活の育成
 - ①保健管理の充実
 - ②健康相談の充実
- (3) 教育相談の充実を図る
 - ①多様な生徒への対応
 - ②スクールカウンセラーの活用

図書部

- (1) 図書資料・教材の充実
- (2) 読書指導の充実・強化
- (3) 図書館利用の活性化
- (4) 図書委員会活動と広報活動の充実

事務部

- (1) 学校予算の効率的な執行に務める
- (2) 事務職員の資質の向上を図るため、研修に積極的に参加し研究をする
- (3) 校内の学習環境の整備に努める

◆各教科

国語科

- (1) 基礎・基本の徹底
- (2) 授業内容の充実と工夫
- (3) 表現指導の充実と強化

地歴・公民科

- (1) 地理的・歴史的な思考力を養うとともに豊かな教養を育む
- (2) 現代の世界や日本をより深く理解し、グローバル化へ対応できる能力を育む
- (3) 教科指導を通して主権者としての自覚を養う
- (4) 教育課程と観点別評価の研究に努める
- (5) 大学入試共通テストに対応した授業の研究に努める

数学科

- (1) 授業内容の精選・充実と指導の強化
- (2) 習熟度別授業の研究と実践
- (3) 観点別評価・入試の研究
- (4) 講座の充実

理 科

- (1) 生徒の実態に対応した授業展開の研究と実践
- (2) 実験・実習を含めた効果的な授業の研究と実践
- (3) 教材教具の制作と活用
- (4) ICTの活用

保健体育科

- (1) 種目特性に合わせて指導内容を工夫する
- (2) 服装容疑と挨拶の定着、授業準備と片付けを徹底させる
- (3) 集団活動の規律、行動、けじめを身につけさせる

英語科

- (1) 英語で積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する
- (2) 英語の基礎学力向上に努め、大学入試対策を図る
- (3) ICTを効果的に活用する
- (4) 外国指導助手（ALT）との効果的な授業の展開を図る

家庭科

- (1) 「生きる力」をはぐくむ能力と実践的な態度を育てる授業の研究と実践
- (2) 生徒の実態に応じた題材を選定し、教材・教具を工夫・活用する
- (3) 施設・設備・備品の維持・管理、衛生面・安全面に留意して実験・実習の充実を図る

芸術科

- (1) 生徒の実態に応じたわかる授業の工夫と実践により、生徒の自己肯定感を高め、主体的な表現力を養う
- (2) ICTを取り入れた効果的な教材教具の使用、アクティブラーニングなどの形式を取り入れた授業展開に努め、生徒の主体性を育む
- (3) 幅広い芸術の諸活動を通し、深く鑑賞する態度を育て、豊かな感性や表現力を高める

情報科

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。